

# 有機農業の拡大に向けた 施策等の動向

令和5年7月10日

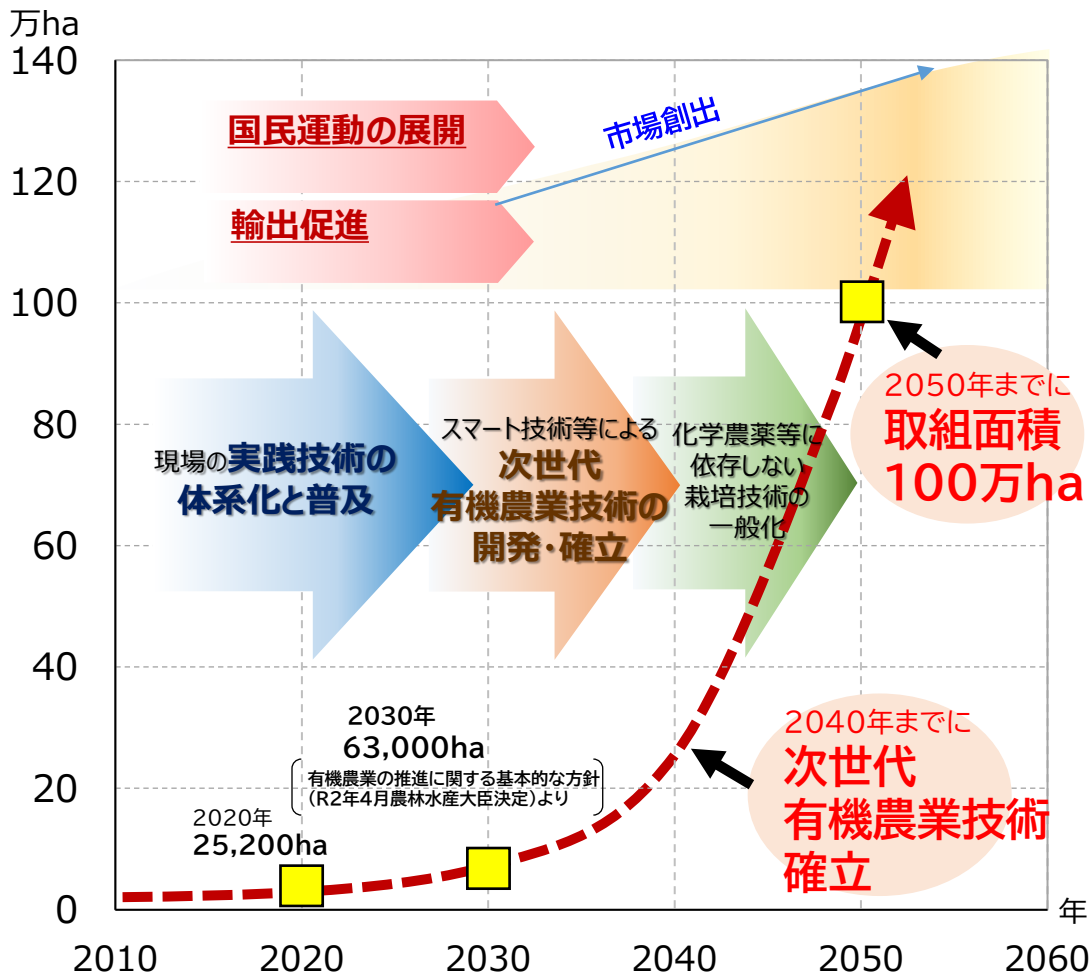
農林水産省

農産局 農業環境対策課

# 有機農業の取組の拡大

## 目標

- **2050年までに、オーガニック市場を拡大しつつ、耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%（100万ha）に拡大**（※国際的に行われている有機農業）
- 〔 ● **2040年までに、主要な品目について農業者の多くが取り組むことができる次世代有機農業技術を確立** 〕



## 有機農業の推進に関する基本的な方針

### 推進及び普及の目標

- 10年後（2030年）の国内外の有機食品の需要拡大を見通し、生産および消費の目標を設定。

有機農業の取組面積	23.5千ha(2017)→63千ha(2030)
有機農業者数	11.8千人(2009)→36千人(2030)
有機食品の国産シェア	60%(2017)→84%(2030)
有機食品を週1回以上利用する者の割合	17.5%(2017)→25%(2030)

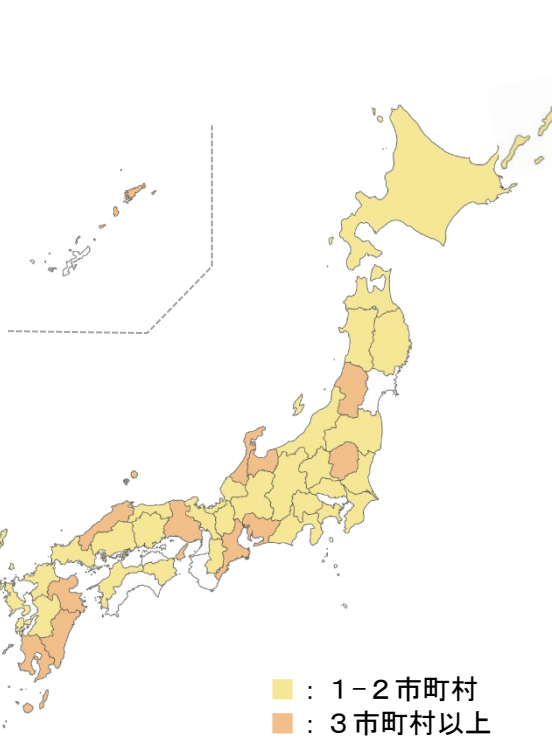
### 推進に関する施策

- 人材育成
- 産地づくり
- 販売機会の多様化
- 消費者の理解の増進
- 技術開発・調査

# 有機農業産地づくり推進 実施予定地区一覧

- 有機農業の取組面積の拡大に向けては、地域ぐるみで有機農業の生産から消費まで一貫して取り組む『オーガニックビレッジ』を2025年までに100市町村を創出することとしているところ。
- 令和3年度補正予算から、みどり交付金により支援を開始したところであり、令和5年度において、83地区(84市町村)で実施。

## 【実施市町村】



都道府県	市町村	都道府県	市町村
北海道	① (安平町)	滋賀県	① (甲賀市)
青森県	② (黒石市、五戸町)	京都府	① (亀岡市)
岩手県	② (花巻市、 <u>一関市</u> )	兵庫県	⑧ (加東市、 <u>上郡町</u> 、豊岡市、養父市、朝来市、丹波市、丹波篠山市、淡路市)
秋田県	① (大潟村)	奈良県	② (宇陀市、 <u>天理市</u> )
山形県	⑦ (米沢市、鶴岡市、新庄市、川西町、 <u>高島町</u> 、 <u>山形市</u> 、 <u>酒田市</u> )	鳥取県	① ( <u>日南町</u> )
福島県	② (喜多方市、二本松市)	島根県	⑤ (大田市、邑南町、 <u>江津市</u> 、浜田市、吉賀町)
茨城県	① (常陸大宮市)	岡山県	① ( <u>和気町</u> )
栃木県	③ (市貝町、小山市、塩谷町)	広島県	① (神石高原町)
群馬県	② (甘楽町、高山村)	山口県	① (長門市)
埼玉県	① (小川町)	徳島県	② (小松島市、 <u>海陽町</u> )
千葉県	② (佐倉市、木更津市)	愛媛県	① ( <u>今治市</u> )
神奈川県	② (相模原市、 <u>小田原市</u> )	福岡県	① (うきは市)
山梨県	① (北杜市)	長崎県	① (南島原市)
長野県	③ (辰野町、松川町、 <u>飯綱町</u> )	熊本県	② (山都町、南阿蘇村)
静岡県	③ (藤枝市、掛川市、 <u>川根本町</u> )	大分県	③ (臼杵市、佐伯市、 <u>豊後高田市</u> )
新潟県	② ( <u>新発田市</u> 、佐渡市)	宮崎県	③ (綾町、高鍋町・木城町)
富山県	② (南砺市、 <u>富山市</u> )	鹿児島県	④ (南さつま市、湧水町、南種子町、徳之島町)
石川県	① ( <u>珠洲市</u> )		
福井県	① ( <u>越前市</u> )		
岐阜県	① (白川町)		
愛知県	③ (東郷町、南知多町、 <u>岡崎市</u> )		
三重県	③ ( <u>伊賀市</u> 、尾鷲市、 <u>名張市</u> )		

令和4年度 55市町村

↓

新たに29市町村で取組を開始

令和5年度 84市町村

(下線：R5年度から開始)

# 有機農産物の生産・利用拡大に向けた地域間の連携のイメージ

## (例) 都市部の学校給食等での有機農産物の利用

有機産地の形成が難しく消費人口の多い都市部において、市役所等の行政機関が主導し、学校給食や公共機関の食堂等での有機農産物の利用を促進することにより、有機農産物市場の更なる拡大を推進。

### 【イメージ】



オーガニックビレッジと都市部の市町村との  
架け橋

**"オーガニックブリッジ"**

安定的な販売先の確保

学校給食での利用